

RUMOI★ナースウェーブ

VOL.68

2023. 9月発行



発行元

公益社団法人
北海道看護協会留萌支部

【働き続けられる職場づくり推進委員会】
四戸 妻野 佐藤 澤向
代表 留萌市立病院
0164-49-1011
kango@rumoi-hp.jp

約3年間新型コロナウイルスで、多くの活動が制限され、思うような活動ができない状況でしたが、今年5月に感染に留意しながらも、様々な方と「ふれあう活動」を行うことができました。看護の日、看護週間の啓発を目的に、支部スタッフが一つになって活動を行えたのはとても嬉しく、これからの励みとなるイベントとなりました。

3年ぶりの「看護の日・看護週間」イベント開催！

令和5年5月20日（土）るしんふれ愛パークで「看護の日・看護週間」を開催しました。新型コロナウイルスが5類に移行してから様々な自粛が緩和され、久しぶりの留萌支部合同でのイベント開催となりました。市内・外、道外と〇名の方にご参加いただけました。久しぶりのふれあいに、色々な思いを抱きながらの活動となりました。



屋内では、AED操作・心肺蘇生体験、ナースウェアの展示、蛍光塗料とブラックライトを用いた手洗い実践、妊婦体験などの企画をし、また、屋外では看護の日キャラクターかんごちゃんとハローキティのコラボグッズの配布を行いました。

体験コーナーでは、それぞれが真剣に説明を聞く様子や、実際に心臓マッサージをして大変さや難しさを感じられる方もいらっしゃいました。お父さんの妊婦体験では笑顔がこぼれる一面も見られました。



おわりに

コロナが5類に移行してもWithコロナでの活動は今後もしばらくは継続となります。高校生対象の「ふれあい看護体験」も、いまだ模索中ですが、今回の活動を皮切りに、より多くの方々に看護を知っていただく機会を考えていきたいと思っております。

ありがとうございました。

これからもご覧いただくと幸いです。